ARCAM

オーナーズマニュアル

CD25





© LS_ARCAM_CD25_OM_JA_v1_20260909 – Harman International Industries, Incorporated.
機能、仕様、外観は予告なく変更されることがあります。

1. 本説明書をお読みください。
2. 本説明書を保管しておいてください。
3. 警告をすべて守ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 乾いた布を使って清掃してください。
6. 換気口をふさがないでください。メーカーの指示に従って本機を設置してください。
7. 熱源（ラジエーターや電熱器やストーブなど、熱を発生する機器）の近くに設置しないでください。
8. 極性付きまたは接地タイプのプラグの安全機能を損なうな使い方はおやめください。極性付きプラグの片方の端子は、もう一方の端子より幅が広くなっています。接地タイプのプラグには、2個の端子と、接地端子が装着されています。幅広端子や接地端子は、お客様の安全のために装着されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事士に相談して、古いコンセントを交換してください。
9. 電源コードの上を歩いたり挟まないようにしてください。特に、プラグ、テーブルタップ、機器のケーブル出口で電源ケーブルを保護してください。
10. メーカーより指定された付属品やアクセサリのみをお使いください。
11. 本装置は最高温度35℃の穏やかな気候での使用を想定して設計されています。
12. メーカーが指定している、または、本器専用に別売されているカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルと一緒に使用してください。カートを使用する場合、カート/機器を一緒に移動している際に転倒させてけがをしないように注意してください。



13. 稲妻が光ったり、長期間使用しないときは、本器の電源ケーブルを抜いてください。
14. 整備はすべて有資格者に依頼してください。電源ケーブルやプラグが破損した場合、液体をこぼした場合、中に異物が入った場合、雨や湿気で濡れた場合、正常に動作しない場合、落下させた場合など、何らかの損傷が生じた場合には、修理が必要となります。
15. 本機を交流電源から完全に切断するには、電源コードのプラグをコンセントから外す必要があります。
16. 電源ケーブルの電源プラグは、容易に操作できる状態にしておく必要があります。
17. 本機には、メーカーから提供される電源ケーブルや充電ケーブルのみを使用してください。

警告: 火災や感電を防止するため、本機を雨や水で濡らさないでください。

- 本器を水周りで使用しないでください。
- 本機に水滴や飛沫がかからないようにしてください。また、本機の上に、花瓶など液体の入った物を置かないでください。

警告	
感電の危険があります。開かないでください。	
	製品上のこの記号は、筐体内に、絶縁されていない危険な高電圧が存在し、感電の危険があることを意味しています。
	製品上のこの記号は、本ガイドに重要な操作手順やメンテナンス手順が記載されていることを意味しています。

安全上の注意事項の完全リストについては、**ARCAM.co.uk**の製品ページにアクセスし、安全シートをダウンロードしてください。

クラスII機器
本装置はクラスII（二重絶縁）電気機器です。電気的アースへの安全接続を必要としない方法で設計されています。

クラス1レーザー製品
外囲器を外した状態で操作しないでください。目に見えないレーザーが放射され、目を傷めるおそれがあります。

目次

本器の配置 4
同梱品 4
フロントパネル 5
リアパネル 5
XLRケーブルでアンプに接続する 6
RCAケーブルでアンプに接続する 7
リモコン 8
メニュー 10
DACフィルター 10
トラブルシューティング 11
仕様 11

ARCAM製品をお選びいただきありがとうございます

ARCAMは、50年間にわたり、最先端の音質を提供するHi-Fiおよびホームシネマに特化した製品を製造してきました。

CD25は、当社が開発した最初のCDプレーヤーである1986年のARCAM Delta 70にまで遡る、受賞歴のあるCDプレーヤーの長いラインの最新製品です。

ARCAM Radia CD25は今後数十年にわたって信頼性の高いCD再生を提供し、卓越した音楽性で音楽を心ゆくまで楽しめるように設計されています。

万が一障害が発生した場合、または技術サポートが必要な場合は、メールluxurysupport@harman.comもしくは電話+44 1707 668012または+1 888 691 4171で、専門サポートチームにご連絡ください。

もしくはARCAM製品に関する詳しい情報が必要な場合、当社販売店ネットワークが喜んでお手伝いいたします。詳細についてはARCAMのサイト ARCAM.co.ukをご覧ください。

本器の配置

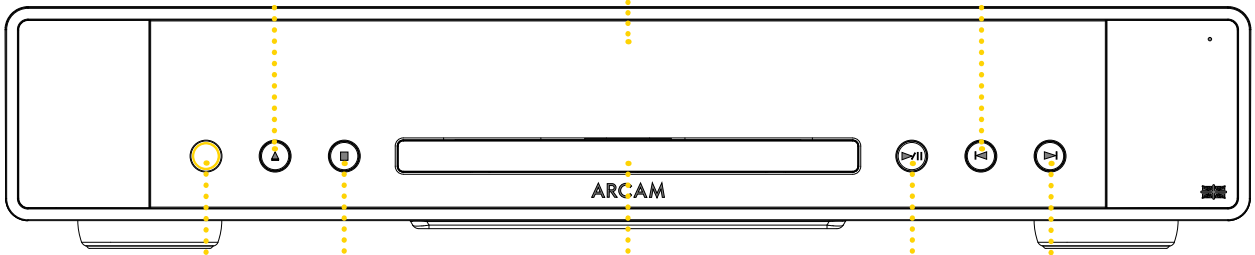
- 本CDプレーヤーは、直射日光や熱源や湿気を避けて、丈夫で平坦な水平面に設置してください。
- CDプレーヤーをパワーアンプなどの熱源の上に置かないでください。
- 本器の上にレコードプレーヤーを置かないでください。レコードプレーヤーは主電源から発生する雑音に対して大変敏感です。電源とレコードプレーヤーとの間が近すぎると、再生音にハム音が混ざって聞こえるようになります。
- リモコンの動作が妨げられますから、フロントパネルディスプレイの右側にあるリモコン受光器の前に障害物を置かないでください。
- 本器の正常な動作は、強力な電磁妨害によって妨げられることがあります。これが発生した場合、電源ボタンで本器をリセットするか、本器を別の場所に移動してください。

注意:CDを再生せず、操作も行われない状態が20分間続くと、CDプレーヤーはスタンバイモードになります。本CDプレーヤーには電源管理機能を無効にするオプションがあります。これを無効にすると、エネルギー消費量が増加します。

同梱品

- ARCAM CD25 CDプレーヤー
- IRリモコン
- リモコン用単4電池2本
- 地域別の電源ケーブル
- 安全性と法令順守に関する冊子
- クイックスタートガイド

フロントパネル



スキップバックボタン
現在の曲を最初から再生します／前の曲の再生を開始します

取り出しボタン
ディスクトレイの開閉

ディスプレイ

停止ボタン
再生を停止して最初に戻る

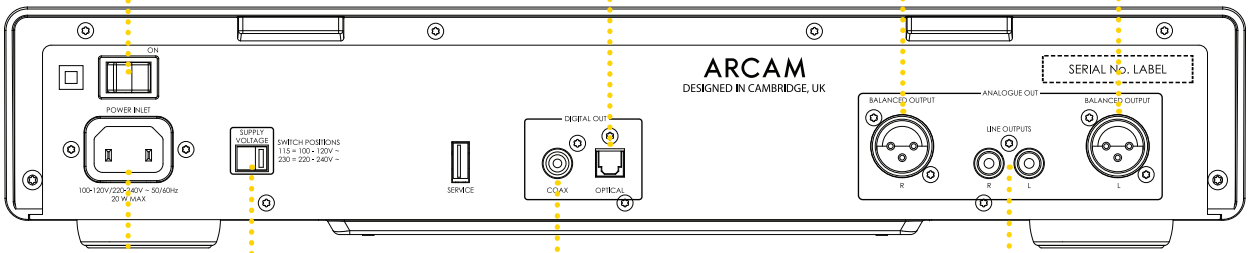
ディスクトレイ
再生したいディスクを入れます

再生 / 一時停止ボタン
再生中に再生を開始したり再生を一時停止します

スタンバイボタン
スタンバイモードと動作モードを切り替えます

次へスキップボタン
次の曲の再生を開始します

リアパネル



光デジタル出力
この出力端子からアンプの光デジタルオーディオ入力端子に、Toslinkオプティカルケーブルを接続します

平衡オーディオ出力
この接続の使用方法については、次のページの図を参照してください。

電源スイッチ
CDプレーヤーのオンとオフを切り替えます

電源入力
ここに付属の電源ケーブルを接続します

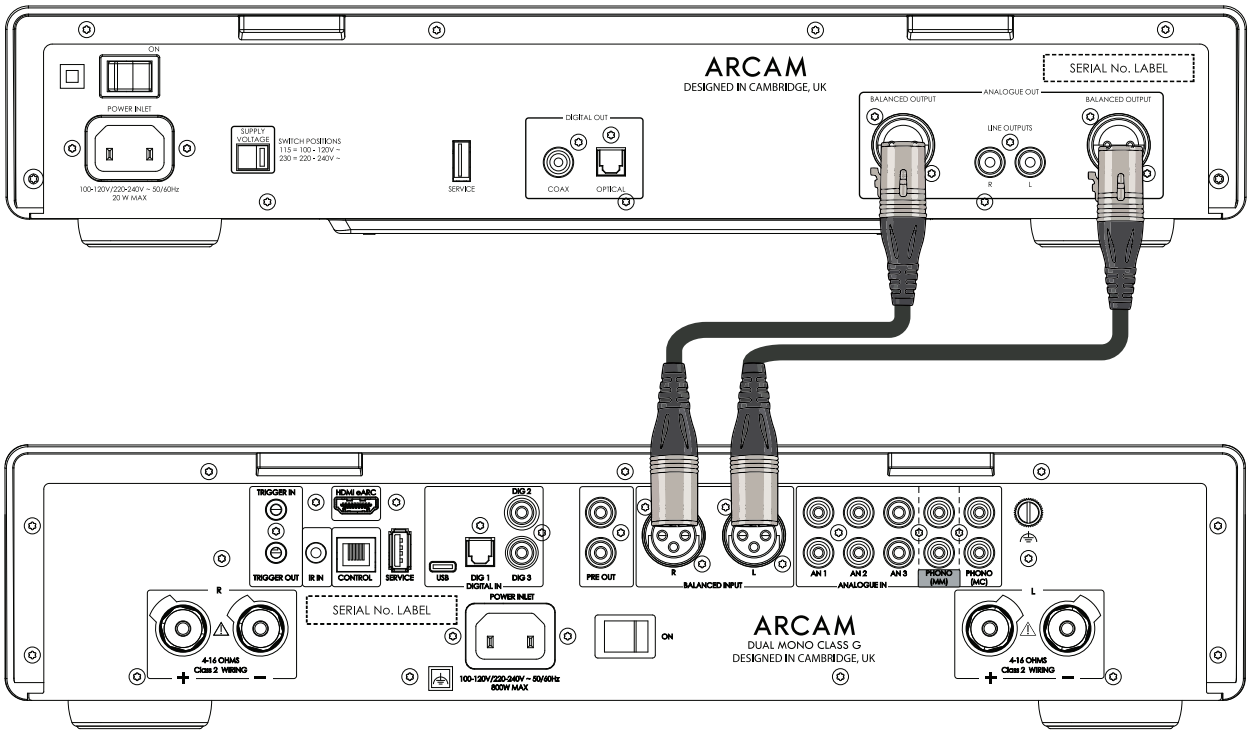
同軸デジタル出力
この出力端子からアンプの同軸デジタルオーディオ入力端子に同軸ケーブルを接続します

ラインオーディオ出力
この接続の使用方法については、次のページの図を参照してください。

注意:電源を入れる前に、電源電圧スイッチが、お住まいの地域の電源仕様に正しく設定されていることを確認してください。

XLRケーブルでアンプに接続する

- ステップ 1. CDプレーヤーとアンプに電源が接続されていないことを確認します。
- ステップ2:1本目のXLRアナログインターコネクトケーブルを使用して、CDプレーヤーの平衡アナログ出力の右(R)端子と、アンプの平衡XLR入力の右(R)端子を接続します。
- ステップ3:2本目のXLRケーブルを使用して、CDプレーヤーの平衡アナログ出力の左(L)端子と、アンプの平衡XLR入力の左(L)端子を接続します。

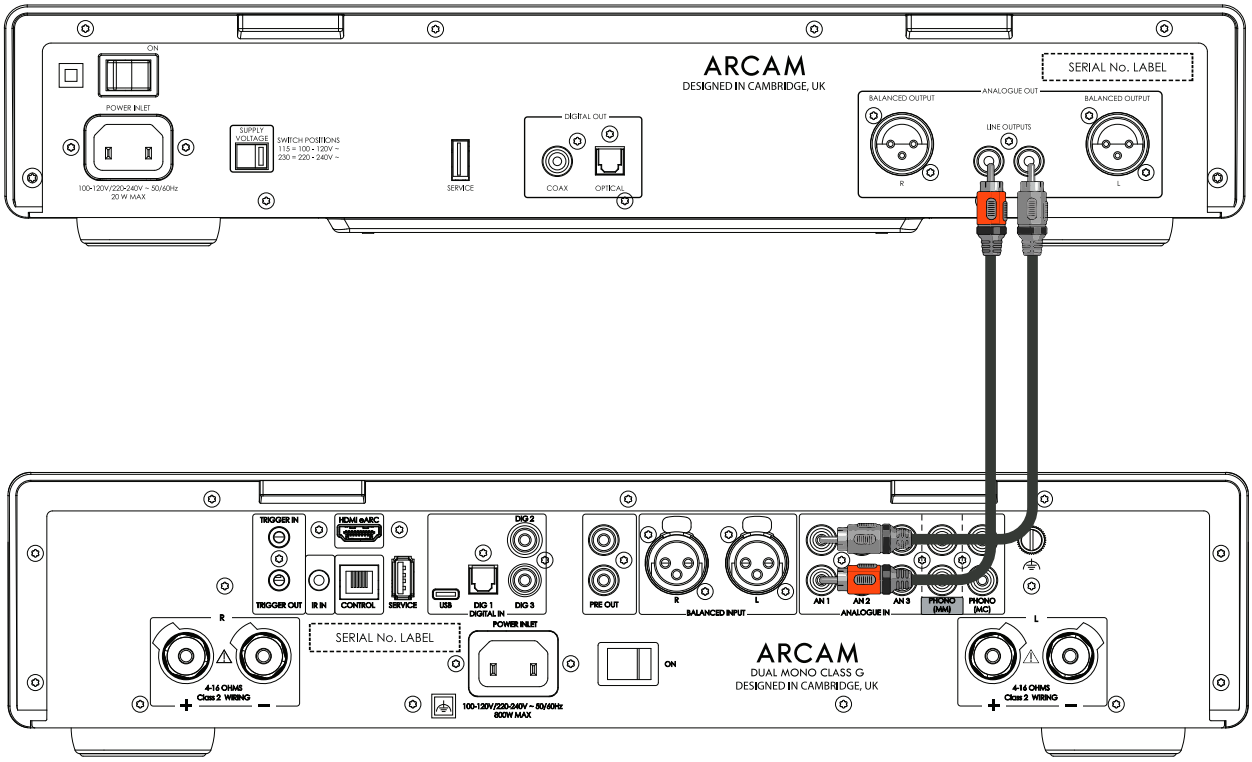


役に立つヒント

- 接続後:入力信号がない状態でアンプのスイッチを入れ、音量を最小まで下げます。CD入力を選択し、CDを再生しながら、適切なリスニングレベルまでゆっくりと音量を上げます。この手順により、接続を誤った場合に、大きな音が出たり製品の損傷を防ぐことができます。
- システムの接続方法についてご不明な点がありましたら、ARCAM販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

RCAケーブルでアンプに接続する

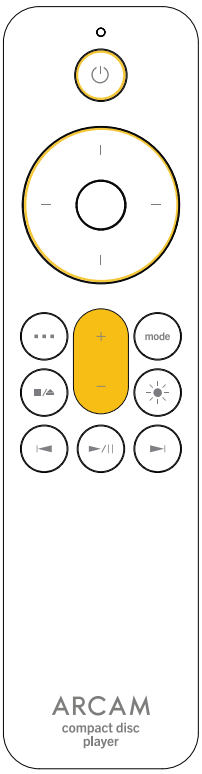
- ステップ 1. CDプレーヤーとアンプに電源が接続されていないことを確認します。
- ステップ2:アナログインターコネクトケーブルを使用して、CDプレーヤーのアナログ出力の右(R)端子(通常は赤)と、アンプで使用したい赤い右(R)入力端子を接続します。
- ステップ3:CDプレーヤーのアナログ出力の左(L)端子(通常は白)と、アンプの白い左(L)入力端子を接続します。



役に立つヒント

- 接続後:入力信号がない状態でアンプのスイッチを入れ、音量を最小まで下げます。CD入力を選択し、CDを再生しながら、適切なリスニングレベルまでゆっくりと音量を上げます。この手順により、接続を誤った場合に、大きな音が出たり製品の損傷を防ぐことができます。
- システムの接続方法についてご不明な点がありましたら、ARCAM販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

リモコン



	スタンバイ動作の切り替え
	左/右:メニューナビゲーション 上/下:メニューナビゲーション 中央ボタンを押してMenuアイテムを選択します。
	音量調節（ARCAM Radiaアンプを操作する）
	設定メニュー
mode	ディスク再生モード
	停止／ディスクトレイの開閉
	最大/減光/消灯
	トランスポートキー（再生／一時停止、前のトラック／次のトラックへスキップ）

注意:誤った電池を使用すると、危険な結果が生じる恐れがあります。使い古した電池と新品の電池を混ぜて使用しないでください。異なる電池を混ぜて使用しないでください。見た目は似ていても、電池が異なると電圧が異なることがあります。正しい方向に電池が挿入されていることを確認してください。

1か月以上使用しない場合、機器から電池を外しておいてください。使用済みの電池は、お住まいの国や地方自治体の定めた規則に従って廃棄してください。

ディスプレイ操作

リモコンの ボタンを押すと、ディスプレイの輝度を下げたり、ディスプレイをオンまたはオフにすることができます。

再生コントロール

停止/イジェクト: ボタンを押すと再生が停止します。もう一度このボタンを押すと、ディスクトレイが出てきます。

再生/一時停止: ボタンを押すと再生を一時停止します。再生を再開するには、このボタンをもう一度押してください。

スキップ:トラックをスキップするには、 または を押します。

前にスキップする際に、最初のボタンを押すと、現在再生中のトラックの先頭まで戻ります。再度ボタンを押すと、1つ前のトラックの先頭に移動します。
スキップボタンを押し続けると、1つのトラック内を前後にスキャンできます。

電源
リアパネルの電源スイッチで、CDプレーヤーの電源のオンオフを切り替えます。接続が完了したら、CDプレーヤーの電源を入れます。

スタンバイ
フロントパネルのStandbyボタンを押すと、CDプレーヤーのスタンバイとオン (動作) が切り替わります。

オートスタンバイ
本CDプレーヤーは、20分間オーディオを再生しなかったり操作が行われなかった場合に、自動的にスタンバイに切り替わるよう設計されています。これは国際的な電力消費規制を満たすためです。これはメニューでオフにすることができます。メニューの使い方については、10ページを参照してください。

CDの再生
CDトレイを開くには、CDプレーヤー前面のEjectボタンを押します。するとディスクトレイが開きます。
ラベルを上にして (光沢のある面を下にして)、トレイにCDを置きます。
次に、CDプレーヤー前面のEjectボタンを押してディスクトレイを閉じ、Playを押すと、再生が開始します。

注意:このCDプレーヤーはコンパクトディスクのみを再生するように設計されています。本機の中に、異物 (食品、飲料、付属物を含むがこれらに限定されない) が入ると、損傷や傷害が発生する可能性があります。この場合、保証の対象外となります。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO	コンパクトディスク (オーディオCD)
COMPACT disc Recordable	一度だけ書き込み可能なコンパクトディスク (CD-R)。 注意:プレーヤーが読み取ることができるように、書き込み可能なディスクをファイナライズする必要があります。
COMPACT disc ReWritable	再書き込み可能なコンパクトディスク (CD-RW)。 注意:プレーヤーが読み取ることができるように、書き込み可能なディスクをファイナライズする必要があります。
COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD-TEXTディスク。 このディスクにはテキスト情報が含まれており、音楽の再生中にディスプレイに表示できます。

ディスク再生モード
リモコンのMODEキーを押すと、現在のディスク再生モードが表示されます。
続けて押すと、次の再生モードに切り替わります。
- Normal (デフォルト) - ディスク全体をトラック順に1回再生します。
- Repeat One - 現在のトラックのみを繰り返し再生します。
- Repeat All - ディスク全体をトラック順に繰り返し再生します。
- Shuffle - ディスク上のすべてのトラックをランダムな順序で再生します。

メニュー

設定メニューにアクセスするには、リモコンの ⋯ を押します。
メニューを移動するには、リモコンのナビゲーションボタンを使用します。

メニューツリー

メニューオプション	説明
Output Type (出力タイプ)	使用したい出力を、Both、Analogue、Digitalから選択します。 デフォルトは**Both (両方)**です。
DAC Filter (DACフィルター)	アナログ出力のデジタルフィルターを選択します。 初期設定は**Apodizing**です。
Disc Autoplay (ディスク自動再生)	これを有効にすると、ディスクを挿入したとき、またはすでにディスクを入れた状態でCDプレーヤーの電源を入れたときに、自動的にディスクの再生が始まります。 デフォルトは**Off (オフ)**です。
Eco Timer (エコタイマー)	これを有効にすると、ユーザーによる操作や再生がない状態で、20分以内にCD25がスタンバイ状態になります。 初期設定は**On (オン)**です。
Software Version (ソフトウェアバージョン)	MCUおよびCDデコーダーのソフトウェアバージョンを表示します。
Restore Defaults (デフォルトに戻す)	Select/OKを押すと、全設定が工場出荷時の状態に復帰します。

DACフィルター

CD25には、デジタルからアナログへの変換で使用される複数のデジタルフィルターを選択するオプションがあります。出力で不要な歪みを最小限に抑えるためにデジタルフィルターが必要ですが、どのデジタルフィルターも完璧ではありません。各パラメータの間で妥協する必要があります。

- 周波数応答 - 可聴周波数全体にわたるオーディオレベルです。理想的には、20Hzから20kHzの間であまり変化しないことが望ましいとされます。
- フェーズ - 異なる可聴周波数を再生する際に生じる時間遅延です。理想的には、できる限り少ない(リニアフェイズである)ことが望ましいとされます。
- リンギング - オーディオの前(プレ)または後(ポスト)に発生する追加のオーディオ アーティファクトです。理想的には、できる限り小さなレベルで、できる限り短時間継続することが望ましいとされます。

CD25では次のフィルターが選択できます。

Apodizing - 周波数応答、位相、リンギングの間の妥協点です。最高周波数の出力レベルがわずかに低下します。プレ/ポストリンギングは等しく、レベルが低下します。

Minimum Fast - 20 kHz以下の出力レベルを維持します。プレリンギングは発生しませんが、ポストリンギングが最も多く、高域では位相応答が変化します。

Minimum Slow - プレリンギングが発生せず、ポストリンギングも低減されますが、超高域では出力レベルが測定可能な程度に低下し、位相シフトが発生する場合があります。

Linear Fast - 高域での位相シフトが最小限に抑えられ、20 kHz以下の出力レベルが維持されますが、プレリンギングとポストリンギングが大きくなり、同程度のレベルで発生します。

Linear Slow - プレリンギングとポストリンギングが同程度に、ごく短時間発生し、そのレベルも低く、位相シフトも発生しませんが、超高域で出力レベルが測定可能な程度に低下します。

トラブルシューティング

問題	以下を確認
音が出ない	CDプレーヤーが電源に正しく接続され、電源スイッチが入っていますか? CDプレーヤーがアンプに正しく接続されていますか? アンプの電源が入り、正しい入力が選択され、ミュートされていませんか?
挿入したディスクが再生されません	ディスクに傷や汚れはありませんか? ディスクが裏返しではありませんか?ディスクは光沢面を下にして挿入してください。 サポート対象ディスクですか?
不意に音が出なくなった	ディスクに傷や汚れはありませんか? CDプレーヤーの振動や衝撃によって、再生が中断されることがあります。再生中にCDプレーヤーを動かしたり振動させないようにしてください。
CDプレーヤーがリモコンに反応しません	リモコンに新品の電池が入っていますか? リモコンとCDプレーヤーの間に障害物がなく、リモコンがCDプレーヤーのディスプレイを向いていますか?
フロントパネルディスプレイに何も表示されない	CDプレーヤーが電源に正しく接続され、電源スイッチが入っていますか? CDプレーヤーがスタンバイ状態になっていませんか? ディスプレイが「Off」で暗くなっていませんか? リモコンの⏻ボタンを押します。

仕様

再生		
再生可能なメディア	CD(オーディオ)、CD-R(オーディオ/データ)、CD-RW(オーディオ/データ)	
サポートされているファイル形式(データ)	WAV(LPCM)、FLAC、MP3、AAC	
サポートされているサンプリングレート	WAV/FLAC	96、88.2、48、44.1、32 kHz
	MP3/AAC	48、44.1、32 kHz
サポートされるビット深度	16〜24 ビット	
出力		
アナログ出力	2(RCA 1 組、XLR 1 組)	
最大アナログ出力(0 dBFS、RCA/XLR)	2.2/4.4V RMS	
SN比(A重み付け、16 ビット/24 ビット、0 dBFSにて)	93dB/115dB	
周波数応答(フィルタ1)	20 Hz〜20 kHz ±0.1 dB	
デジタル出力	2個(光×1、同軸×1)	
全般		
主電圧	100〜120 V または 220〜240 V、50/60 Hz	
最大消費電力	20 W	
スタンバイ時の消費電力	0.5 W 未満	
最大周囲動作温度	35 ℃/95 ℉	
寸法 W×D(スピーカー端子含む)×H(脚含む)	431 × 329 × 84 mm	
本体重量	6.5 kg	
梱包重量	9.5 kg	
同梱アクセサリ	主電源ケーブル	
	リモコン、単4形電池 x 2	
	クイックスタートガイド	
	安全に関する重要な注意事項	

ARCAM

www.arcam.co.uk

ARCAMは、米国および諸外国で登録済のHARMAN International Industries, Incorporatedの
商標です。

© 2026 HARMAN International Industries, Incorporated.無断転載を禁じます。

機能、仕様、外観は予告なく変更されることがあります。

HARMAN

HARMAN International, Incorporated
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA
Danzigerkade 16G 1013 AP Amsterdam, Netherlands
Ground Floor, Westside 2, London Road, Apsley, Hemel Hempstead, Hertfordshire, HP3 9TD,
United Kingdom

© LS_ARCAM_CD25_OM_JA_v1_20260909 – Harman International Industries, Incorporated.
機能、仕様、外観は予告なく変更されることがあります。